



青森、埼玉に逆転勝ち

I | H |  
少年



【少年1回戦・青森―埼玉】第2ピリオド1分41秒、青森は中居、田中のアシストで本間(右)がゲット、1点差に詰め寄る

スケート国体第2日

スピード 戸田ら決勝進出

第五十五回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会第二日は二十日、スピード、アイスホッケー、フィギュアに熱戦を展開した。

スピード競技会場の八戸市・長根リンクでは午前中、少年男女、成年女子A、成年男子A、Cの五百メートル準決勝、成年男子B、成年女子C、成年女子Bの五百メートル予選などが行われた。県勢は少年男子五百メートル袴田真吾(光星)、成年男子A五百メートル藤ヶ森誠司(山梨学院大)と加藤勝広(吉田産業)が決勝進出を決めた。成年男子B五

百メートルでは、戸田金作(吉田産業)が40秒73で予選をトップで通過、成年女子B五百メートルの尾崎元子(杉沢中教)とともに決勝に進んだ。

アイスホッケーは少年の1回戦がスタートし本県は八戸・新井田インドアリンクで埼玉と対戦。本県は2点を先制されたが第2ピリオド、同点に追いつき、第3ピリオドに一気に3点を奪い、5―2で逆転勝ちした。

フィギュアは三沢アイスアリーナで成年男子SPが始まり、県勢は高橋稔大(岩手大)と小笠原健雄(日大)が出場した。